

船舶事故等調査報告書

平成22年11月25日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010那第4号	
事故等種類	火災	
発生日時	平成21年11月7日（土） 08時00分ごろ	
発生場所	沖縄県那覇市那覇港西方沖 神山島灯台 <small>かみやまじま</small> から真方位060° 3.0海里付近 (概位 北緯26° 17.2′ 東経127° 38.0′)	
事故等調査の経過	平成21年11月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 船船番号、船舶所有者等 乗組員等に関する情報 死傷者等 損傷	
	プレジャーボート Y・K・T、5トン未満（登録長10.32m） 296-16466 沖縄、個人所有 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 なし 機関室右舷側焼損	
事故等の経過	本船は、船長1人が乗り組み、7人の釣り仲間を乗せ、船首約0.2m、船尾約1.3mの喫水で、宜野湾マリーナを出港して慶伊瀬島に向け、約20ノットの速力で西進中、平成21年11月7日08時00分ごろ、機関室付近から黒煙が出始めた。海水をバケツリレーで火元と思える場所付近に掛け、鎮火した。 本船は、僚船にえい航され、発航地に戻った。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 3、視界 良好	
その他の事項	本船は、進水が平成7年6月であり、平成11年5月に中古船を購入していた。 主機には、充電器が2個付属しており、主機用及びアクセサリ用のバッテリーがそれぞれ備えられ、当時、アクセサリ用バッテリーからレーダーとGPSプロッターに電源を供給していて、配電盤付近から出火した。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 なし 本船は、那覇港西方沖を航行中、機関室付近から出火したものと考えられ、機関室配電盤付近の電気配線の劣化により出火した可能性があると考えられるが、出火の状況は明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船が那覇港西方沖を航行中、機関室付近から出火したため、発生したものと考えられる。	